

聖心女子大学
2026 年度 総合型選抜（外国人留学生入試） 総合科目試験
解答と講評

出題 I

【解答】

問 1 a.× b.○ c.× d.○ e.○ f.×

- a.資料 1 の「区立中学 3 年で不登校を経験した生徒の進路は全日制高校が 16.0%、定時制高校が 38.8%、通信制高校が 35.6%（生徒本人による回答）だった。特別支援学校やその他の学校に進学する生徒もいる」の記述から、進学先が全日制高校、定時制高校、通信制高校だけではないため、不正解（×）である。
- b.資料 1 の「当時は定時制や通信制を「行き先がない時の闇を得ない選択肢」と考えていたのだという。」という記述から正解（○）である。
- c.資料 2-2 の表を確認すると、「いじめの被害の情報や相談があった」は 11/0%（内訳：全日制が 1.0%、定時制が 0.4%）と不登校の原因はいじめではなく、「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった」32.8%、「生活リズムの不調に関する相談があった」26.7%、「不安・抑うつ」の相談があった」16.7%の項目の数値が高く、それらが不登校の主な原因になっていたため、不正解（×）である。
- d.資料 1 の「定時制高校が 38.8%」という記述から約 4 割になり、正解（○）である。統計について正確に理解ができているか、38.8%という記述が約 4 割という表現になることも問われる問題である。
- e.資料 1 の「不登校生徒の進学を「社会とつながる手立ての一つ」と語る」の記述から正解（○）である。
- f.資料 1 の「通信制高校が 35.6%」という記述から、「30%未満」ではないため、不正解（×）である。統計について正確に理解ができているか、「未満」という表現に関しても理解しているかどうか問われる問題である。

問 2（解答例）

解答のポイントは以下の 3 点になる。

資料 1、資料 2-1、資料 2-2 を確認すると、①不登校の生徒が進学する際の選択肢が広がっていること、例えば、全日制高校、定時制高校、通信制高校、特別支援学校、その他の学校に進学する生徒がおり、進学の他にも、高等学校卒業程度認定試験や資格を取得して、社会につながる方法があることが理解できる。それらから、日本の高校生の学びの選択に関して受験者の意見をどのように記述できるかどうか。②日本において不登校生徒の割合が増

え続けている状況について、受験者の考えが書かれているかどうか、不登校生徒が増え続けているその背景等も理解して考察しているかどうか。③資料 2-2 の「不登校生徒について把握した事実」の項目について、「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった」「生活リズムの不調に関する相談があった」「不安・抑うつ」の割合が高いことに関して、それらの困難を抱えた子どもたちに対する対応について、受験者自身の考えを述べてもらうことを意図した出題になる。

【講評】

今回は、「不登校生徒の高校進学に関する選択肢」についての資料を通して、不登校生徒が小学生・中学生・高校生共に過去最多と増加している日本の現状を理解し、それに伴うように変化してきている高校進学が多様な選択肢について、受験者自身の考えを述べてもらうことを意図した出題でした。また、様々な学びの選択肢を活用しながら社会と子どもたちがつながることとは何かについても理解しているかを問う問題でした。

問 1 は、【資料 1】【資料 2-1】【資料 2-2】の内容を正確に読み取れているかを問う選択問題です。統計も含めて正確に読み取ることができているか、また「割合」「未滿」などは統計データを扱い記述する上で不可欠な概念や用語になりますので、それらについての日本語の基礎的な知識があるかを問う問題でした。問 1 に関しては全体的に正解率が高く、統計を含めた資料の読み取りができていました。a～f の問題において、解答率に大きく差が出るものではありませんでした。

問 2 は【資料 1】【資料 2-1】【資料 2-2】の内容を正確に読み取り、それを踏まえて、不登校生徒の増加、不登校生徒が進学する際の選択肢の広がり、不登校生徒の抱える困難：「学校生活に対してやる気が出ない」「生活リズムの不調」「不安・抑うつ」等について、どのような対応が求められるのか、その現象の背景に関しても受験者の考えを問う問題になります。その記述については、資料から読み取れる内容を含めて丁寧に考察し自分の考えを記述している解答が多く出ました。他方で、予備知識を持っているゆえか、資料にほとんど言及しないまま、自身の考えを述べることに終始したために、得点に結びつかなかった解答が少数見られました。そして、日本語の文章の記述能力に関しましては、レベルの差が若干出る形となりました。

出題 II

【解答】

1. (A) ③ outstanding
- (B) ① display
- (C) ① aim
- (D) ④ speech

2. (1) ④ with

(2) ④ whether

3. (a) F (b) T (c) F (d) T

4.(解答例) Dr. Poole meant that when only one elephant responded to a call, it might not be because the others were ignoring it but because the caller was directing the call to a specific individual, similar to using a personal name./ Dr. Poole wondered if the other elephants stayed quiet not because they were rude, but because the call was meant for just one elephant.

5. (解答例) I believe animals like dogs and cats do communicate, though not with human language. Dogs often use barking, body movements and eye contact, while cats rely on meowing, purring and gestures. These behaviors show that they are intelligent because they can express feelings, needs, and even respond to human emotions.

【講評】

問題1は語彙問題で、近い意味の単語を選びます。(A)は単に「例外的」という意味だけではなく、「並外れてすぐれた」という文脈に合う意味を選択する必要があります。

問題2は意味、文法関係を問う空所補充問題です。

(1) 付帯状況を表す with が入り、「たった一頭が応答している状態で」の意味になります。
(2) explore(探究・調査する)の後には(何を探究するのかわを示す)目的語が必要なため、名詞節を導く語が必要です。ここではこの後の文 elephants also "name" other important elements, like food, water, and locations の「内容に関してどうか」を表す whether が入り、「～ゾウもまた食べ物や水や場所といった大切なものに名づけるのかどうかを調査する」という意味になります。

問題3は passage 全体の意味を問う T(true)/ F(false) 問題です。

(a) 「ゾウは、イルカと同じように他の個体を呼ぶ」は、本文第2段落で、By contrast, (対照的に)とあるように、ゾウは真似に頼らないと説明されています。従って、誤り(F)です。逆説表現を見逃さないようにしましょう。

(b) I did wonder, are they being just rude by not answering, or is it because she's actually addressing somebody specific?とあり、研究者が「なぜ他のゾウは反応しないのか」と不思議に思ったことを示しています。A researcher found it curious と言い換えられますので正しい(T)です。

(c) researcher が真似たのではなく、録音した音声を分析したので誤り(F)です。

(d) 本文の“when calling out to their calves”から「子供を呼びたい時に名前を使う可能性が高

い」とわかります。従って正しい(T)です。

問題4は文の言い換え(パラフレーズ)を求めています。本文をそのまま書き写すのではなく自分の言葉で同じ意味を再表現する練習が必要です。日頃から、英文を要約したり別の表現に置き換えたりする練習をするとよいでしょう。

問題5は自分の意見を述べる記述問題です。犬や猫のような身近な動物が意思を伝え合っているか、また知的かどうかを具体的な例とともに述べることが求められています。トピック(主張)を明確にし、理由や例を添えることで、説得力のある回答になります。

全体として、問題5のような意見表現の問題はよく書けていました。一方で、問題1～3の語彙理解や文法の正確さには差が見られました。今後は、語彙力をしっかりと養い、文法的に正確で自然な英文を構築できるよう意識して学習していきましょう。